

エコアクション21

環境経営レポート

第25期 (2021 年 6 月 1 日 ~ 2022 年 5 月 31 日)



作成 2022 年 8 月 20 日



山真建設有限公司

目 次

1	環境経営方針	-----	1
2	事業内容	-----	2
	(1) (2) 事業所名及び代表者氏名		
	(3) 所在地		
	(4) 環境管理責任者及び担当者		
	(5) 事業内容		
	(6) 事業規模		
	(7) 認証範囲		
3	活動組織	-----	3
4	環境経営目標・環境経営活動計画	-----	4
	(1) 現場部門		
	① 環境経営目標と主な取組		
	② 環境経営活動計画		
	(2) 事務所部門		
	① 環境経営目標と主な取組		
	② 環境経営活動計画		
	(3) 全体		
	① 環境経営目標と主な取組		
	② 環境経営活動計画		
5	環境経営活動の取組結果と評価	-----	7
6	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	-----	13
7	代表者による全体評価と見直し	-----	14
8	26期の取り組み内容	-----	16

1. 環境経営方針

【基本理念】

当社は、先祖から受け継いだ自然環境を未来に受けつなげ、人類、動物、植物達にとって住みやすい地球にする為に、環境の保全に努めます。

【行動方針】

当社は主に、土木建設という事業活動を行っており、地球環境を直接改変する側面を持ちます。

このことを認識し、基本理念に基づいて以下の項目にそって会社として、また一個人として社員全員で取り組み、環境負荷の継続的低減を目指します。

1. ICT化の推進

- *ICT化を推進し、業務の効率化、早期竣工を目指す。
- *ムダ・ムリ・ムラを無くす。(ガソリン・軽油の削減。電気使用量の削減。)

2. 建設事業活動における環境負荷低減に努める

- *分別・リサイクルによる産業廃棄物の減量化の実施
- *材料の有効活用(もったいないと思う気持ち)
- *各現場における環境活動を推進

3. 健康経営・働き方改革・地産地消の推進

4. 環境関連法規を遵守する

5. 各協力会社へ環境方針を周知し、協力を得るよう努める

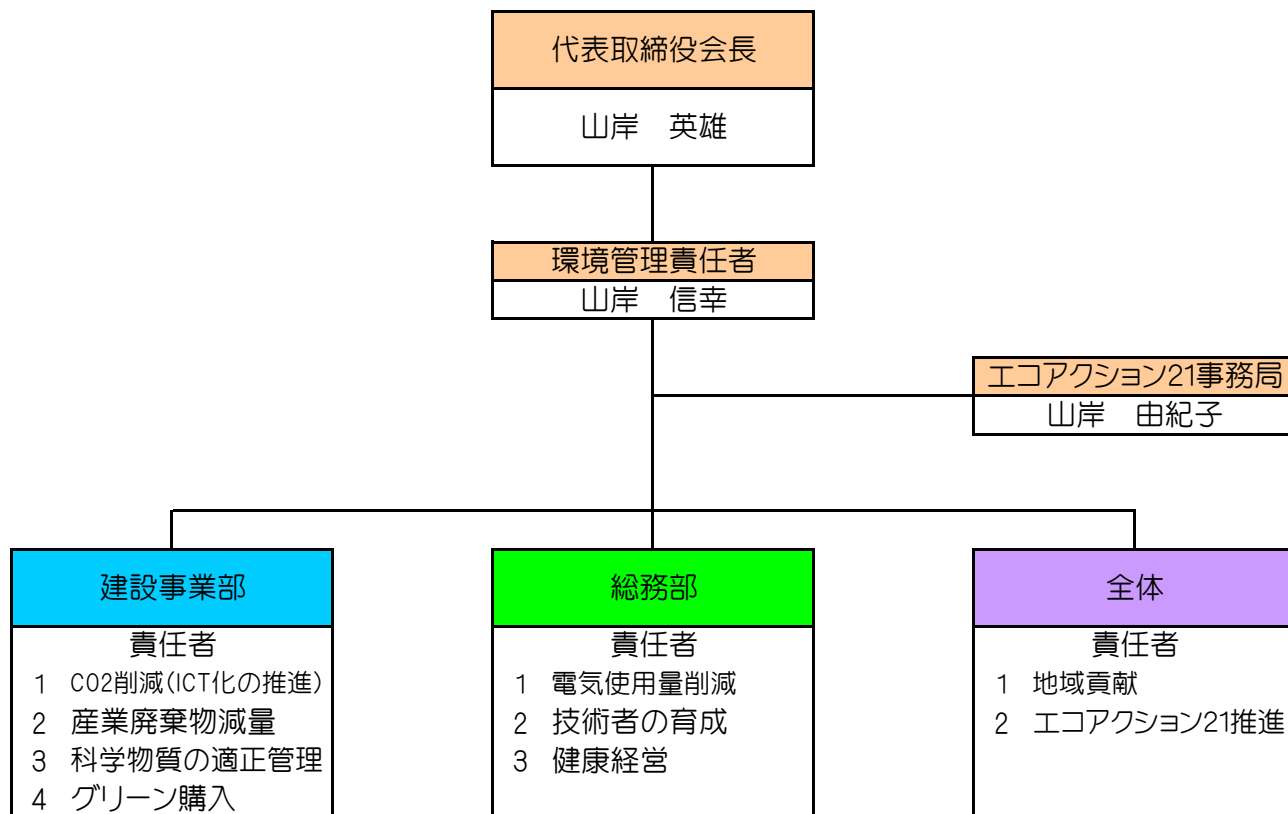
6. 当社の環境方針や環境活動などを、ホームページを利用し一般に公開する

2010 年 1 月 11 日 制定
2019 年 10 月 3 日 改訂

山 眞 建 設 有 限 会 社

代表取締役社長 山岸 信幸

3. 活動組織



責任者	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する総括責任 ・エコアクション21の実施及び管理に必要な人、設備、費用、技術などの準備 ・必要な責任者を任命する ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標の設定を承認 ・エコアクション21全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の管理責任 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口となり、必要な対策を判断し記録を行なう ・法規制等とりまとめ及び遵守の評価 ・環境活動計画を承認 ・各問題点の是正処置、予防処置に関する判断を行い、必要な対策を講じる ・緊急事態への対応の為の手順書作成・訓練・記録 ・エコアクション21事務局と共に、目標に対する定期的な評価を行なう ・環境活動の結果を代表者へ報告
エコアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各取り組みの総合的なとりまとめ及び、目標に対する定期的な評価を行なう ・各月の取り組み状況を把握しデータ管理を行なうと共に、適切な運用に努める ・環境活動レポートの作成
責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・各項目の問題点の発見・是正・予防処置を環境管理責任者と共に実施 ・責任者が各項目ごとに担当者を指名し、結果を取りまとめて定期的に評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・人事だと思わずに「思いやりの心」で取り組む

4. 環境経営目標・環境経営活動計画

(1) 現場部門

① 環境経営目標

期間:6/1～5/31

環境目標項目	基準	目標と主な取組			
		25期目標(2021～2022)	26期目標(2022～2023)	27期目標(2023～2024)	28期目標(2024～2025)
ガソリン、軽油の節約	過去4期の平均使用量 (ガソリン484.6ℓ/月・ 軽油3484.4ℓ/月) 過去4期の平均使用量 ガソリン521.7ℓ/月・軽油6131.4ℓ/月	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
産業廃棄物の減量化	最終処分排出比 (産業廃棄物排出量- リサイクル量)÷産業 廃棄物排出量	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
現場ごとに環境への取組を推進	—	パトロール実施	パトロール実施	パトロール実施	パトロール実施
機械、重機の維持管理	—	点検の継続	点検の継続	点検の継続	点検の継続
使用する化学物質の把握と適正管理	PRTR制度・MSDS	把握と適正管理	把握と適正管理	把握と適正管理	把握と適正管理
環境に配慮した原材料の使用	—	リサイクル材を極力使用 記録の開始	リサイクル材を極力使用 記録の継続	リサイクル材を極力使用 記録の継続	リサイクル材を極力使用 記録の継続

② 25期環境経営活動計画

環境方針	環境目標項目	活動内容
CO2削減	ガソリン・軽油の節約	運転者は燃費を記録簿に記録し、把握する 同じ現場の場合は、乗り合いに努める 急発進・急加速をしない
廃棄物削減・省資源・現場全体の推進	産業廃棄物の減量化 (材料の有効活用)	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パトロールでチェックする
	現場ごとに環境への取組を推進	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パトロールでチェックする
	機械、重機の維持管理	機械の仕分けを行い、番号ステッカーを貼る 点検記録用紙、点検の手順書を作成する 現場終了時に点検・整備を行い、責任者に提出する (年に1回は機械の点検を行う:5月以降)
化学物質適正管理	使用する化学物質の把握と適正管理	室内管理と使用料の把握 保管場所の徹底
グリーン購入	環境に配慮した原材料の使用	環境に配慮した原材料の使用に努める

(2) 事務所部門

①環境経営目標

環境目標項目	基準	目標と主な取組			
		25期目標(2021～2022)	26期目標(2022～2023)	27期目標(2023～2024)	28期目標(2024～2025)
電気使用量の削減	過去4期の平均使用量(519.0kwh/月)	記録・把握	記録・把握	記録・把握	記録・把握
	過去4期の平均使用量(515.7.0kwh/月)	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
一般廃棄物の計測と削減	過去4期の平均(77.4kg/年) 過去4期の平均(69.0kg/年) コピー用紙購入量	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	過去4期の平均(4.238.0g/月) 過去4期の平均(4.240g/月) 可燃ごみ量	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
水使用量の削減	過去4期の平均(10.22m ³ /月) 過去4期の平均(10.24m ³ /月) 水使用量	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

②25期環境経営活動計画

環境方針	環境目標項目	活動内容
CO2削減	電気使用量の削減	こまめにスイッチのオンオフ・明るいときはオフ ソーラーパネルの設置・LEDの使用(現状維持に努める)
廃棄物削減・省資源	一般廃棄物の計測と削減	事務所の資源ごみと可燃ごみの置場ラベルの表示 可燃ごみの計測(現状維持に努める) 置場のダンボール置場、産業廃棄物一時保管場所の設置
	水使用量の削減	節水ラベルを表示して各自節水に努める(現状維持に努める)
技術者の育成	若手技術者の確保・育成	若手技術者の確保・育成に取り組む
健康経営	従業員の健康づくりの推進	健康優良法人の認定を受け、福利厚生の実施を目指す

(3)全体

①環境経営目標

環境目標項目	目標と主な取組			
	25期目標(2021～2022)	26期目標(2022～2023)	27期目標(2023～2024)	28期目標(2024～2025)
SDGsの取組	継続	継続	継続	継続

②25期環境経営活動計画

環境方針	環境目標項目	活動内容
SDGsの取組	ICT化の導入・推進	軽油の使用量削減
	高齢者・女性従業員の雇用促進	女性の従業員率アップ
		高齢者の効用促進、定年後の雇用
健康経営の推進	健康優良法人認定の継続 生活習慣意識の向上を目指す	
その他	エコアクション21推進	環境安全教育会議の実施(3ヶ月に1回) 最新法令の確認と法令順守チェック 環境上の緊急事態の訓練
	地域貢献	事務所周辺のごみ拾い HPで定期的な工事現場の進捗情報を更新する

5. 環境経営活動の取組結果と評価

(1) 現場部門

評価 A 100%以上 B 100%未満～80%以上 C 80%未満～60%以上
D 60%未満～40%以上 E 40%未満～20%以上 F 20%未満

環境目標	基準値 過去4期の平均	今回目標	今回実績	達成率	評価
ガソリンの節約 過去4期の平均を維持	5816.0 ℓ	5816.0 ℓ	6718.01 ℓ	86.6%	B
軽油の節約 過去4期の平均を維持	38213.6 ℓ	38213.6 ℓ	169343.81 ℓ	22.6%	E
灯油の削減 過去4期の平均を維持	162.4 ℓ	162.4 ℓ	36.1 ℓ	449.9%	A
二酸化炭素排出量 過去4期の平均を維持	112488.6 kg-co2	112488.6 kg-co2	※1 452582.70 kg-co2	24.9%	E

ガソリン・軽油の月別使用量と達成率

A 目標より削減 B 目標より増

		A 目標より削減		B 目標より増		評価	
		目標値		使用量			増減
令和2年6月	ガソリン	484.6	ℓ	521.31	ℓ	37	B
	軽油	3184.4	ℓ	14559.70	ℓ	11375	B
7月	ガソリン	484.6	ℓ	645.91	ℓ	161	B
	軽油	3184.4	ℓ	16233.00	ℓ	13049	B
8月	ガソリン	484.6	ℓ	638.95	ℓ	154	B
	軽油	3184.4	ℓ	10547.90	ℓ	7364	B
9月	ガソリン	484.6	ℓ	528.70	ℓ	44	B
	軽油	3184.4	ℓ	14134.93	ℓ	10951	B
10月	ガソリン	484.6	ℓ	591.55	ℓ	107	B
	軽油	3184.4	ℓ	9900.00	ℓ	6716	B
11月	ガソリン	484.6	ℓ	586.11	ℓ	102	B
	軽油	3184.4	ℓ	13351.18	ℓ	10167	B
12月	ガソリン	484.6	ℓ	633.74	ℓ	149	B
	軽油	3184.4	ℓ	13565.93	ℓ	10382	B
令和3年1月	ガソリン	484.6	ℓ	462.96	ℓ	-22	A
	軽油	3184.4	ℓ	33385.36	ℓ	30201	B
2月	ガソリン	484.6	ℓ	600.29	ℓ	116	B
	軽油	3184.4	ℓ	20578.70	ℓ	17394	B
3月	ガソリン	484.6	ℓ	568.38	ℓ	84	B
	軽油	3184.4	ℓ	7142.8	ℓ	3958	B
4月	ガソリン	484.6	ℓ	464.89	ℓ	-20	A
	軽油	3184.4	ℓ	6914.59	ℓ	3730	B
5月	ガソリン	484.6	ℓ	475.2	ℓ	-9	A
	軽油	3184.4	ℓ	9029.6	ℓ	5845	B

【評価コメント】

乗合での移動が難しくなったため、現場での燃料節約を心掛けること。機械のエンジンのこまめな停止等小さなことですが重要である。

評価 A 80%以上 B 80%未満～60%以上 C 60%未満～40%以上
 D 40%未満～20%以上 E 20%未満

環境目標	基準値 過去4期の平均	今回目標	今回実績	達成率	評価
産業廃棄物の減量化 (材料の有効活用)	—	分別準備 パトロール実施	分別完了 パトロール完了	—	A
【評価コメント】 今期は災害復旧が多く河川のブロック根継ぎ等の機材は再資源にするために処分場へ、道路改良工事では分別して排出されている。					
現場ごとに環境への取り組みを推進	—	パトロール実施	パトロール完了	—	A
【評価コメント】 定期的な店社パトロールを実施できている。					
機械、重機の維持管理	—	機械の仕分け 手順書作成 点間開始	仕分完了 作成完了 点間完了	—	A
【評価コメント】 現場での使用後は機械の点検清掃をして返却すること。修理に必要な機械は修理に速やかに出し使用できるように。使用中は雨に濡れないよう養生すること。					
使用する化学物質の把握と適正管理	PRTR制度・MSDS	把握・適正管理	把握・適正管理	—	A
【評価コメント】 今期も適正に管理使用できていた。 引き続き適正な管理を心掛けるように。					
環境に配慮した原材料の使用	—	記録	記録	—	A
【評価コメント】 今期は災害復旧工事が機関の大半を占めており、リサイクル製品を使用した竣工現場もすくなかった。現場も少なかった。使用費としては少なくはおおむね例年通りであった。					

(2) 事務所部門

評価 A 100%以上 B 100%未満～80%以上 C 80%未満～60%以上
D 60%未満～40%以上 E 40%未満～20%以上 F 20%未満

環境目標	基準値 過去4期の平均	今回目標	今回実績	達成率	評価
電気使用量 使用量の把握	6228.1 kwh	6228.1 kwh	6263.10 kwh	99.4%	B
太陽光発電した電力からの消費 使用量の把握	3042.7 kwh	3042.7 kwh	2916.15 kwh	104.3%	A
二酸化炭素排出量	2815.1 kg-co2	2815.1 kg-co2	※2 2830.92 kg-co2	99.4%	B
* 電気の二酸化炭素排出係数は、中部電力の2018年の実排出係数0.452を使用したもの。					
ガソリンの節約 過去4期の平均を維持	1458.2 ℓ	1458.2 ℓ	1357.27 ℓ	107.4%	A
軽油の節約 過去4期の平均を維持	570.6 ℓ	570.6 ℓ	501.15 ℓ	113.9%	A
二酸化炭素排出量 過去4期の平均を維持	4855.1 kg-co2	4855.1 kg-co2	※3 4441.84 kg-co2	109.3%	A
【評価コメント】 ほぼ現状維持できている。暑い時期寒い時期はエアコンに頼りがちですが、扇風機を使用したり服装を工夫し、現状維持できるよう一人一人気を付けること。					
可燃ごみ 過去4期の平均の現状維持	51210 g	51210.0 g	52080.0 g	98.3%	B
コピー用紙購入量 過去4期の平均の現状維持	77.4 kg	77.4 kg	33.0 kg	234.5%	A
【評価コメント】 コピー用紙は裏面使用を徹底し資源を大切に使い、その後シュレッダーで処分する。 現場も増え、書類作成時にはコピー用紙は無駄にせず裏面も使用すること。					
上水道使用量 前年使用料の現状維持	121.5 m ³	121.5 m ³	121.5 m ³	100.0%	A
【評価コメント】 前期より少しの減少。引き続き各自節水を心掛け来期も減少できるよう取り組みたい。					
健康経営 従業員の健康への意識を高め	—	福利厚生 of 充実	福利厚生 of 充実	—	A
【評価コメント】 今期も健康優良法人の認定を受け、一層健康意識を高めるため情報提供を行っていきたい。 従業員全員のインフルエンザ予防接種、歯周病検診、70歳以上の方の人間ドックを実施し、病気の早期発見に努めることができ、自己生活習慣を見直すきっかけとなっている。 保健指導実施率100%。					

(3) CO2総排出量(現場・事務所合計) (※1+※2+※3)

環境目標	基準値 過去4期の平均		今回目標		今回実績		達成率	評価
総二酸化炭素排出量 過去4期の平均を維持	119817.3	kg-co2	119817.3	kg-co2	459855.46	kg-co2	26%	E

(4) 全体

評価 A 80%以上 B 80%未満～60%以上 C 60%未満～40%以上
D 40%未満～20%以上 E 20%未満

環境目標	今回目標	今回実績	達成率	評価
地域貢献	継続	継続	—	B
【評価コメント】 地域の方の安心安全な生活を守るため、冬季の塩カル散布、除雪業務を今期も行いました。 現場の進捗状況をホームページで定期的に発信し、わかりやすい言葉での情報提供を心掛けました。				
エコアクション21推進	継続	継続	—	A
【評価コメント】 今期は災害復旧工事で河川での施工が多かったので、油の流出に特に注意を払い、目立った油の流出もなく完成に至った。 法令も順守されている。				
技術者の育成	継続	継続	—	B
【評価コメント】 来季に向け、施工管理士1級1名、2級1名の受験予定。				
SDGsの取組【ICT化の導入・高齢者・女性従業員の雇用推進・健康経営の推進】	継続	継続	—	A
【評価コメント】 今期では新しいICT機器を4機導入することとなり、作業の効率化を目指している。人員の削減にもつながり、その分人の手ではなければならない作業に人員を投入することができ結果として効率化につながっている。 ガソリン運転手として、経験豊かな女性従業員も1名増員。女性従業員の割合が全従業員の20%となり、今後も代理人、技術者を目指す女性を募集していきたい。 今期も健康経営優良法人の認定された。すべての従業員にインフルエンザ予防接種、歯周病検診の受診、70歳以上の従業員には人間ドックの受診を実施でき、一層の健康意識の向上を目指したい。				

地域貢献・エコアクション21推進活動記録

現場・会社周辺のゴミ拾い

実施年月日		実施場所
R3	年 5 月 10 日 10 時 00 分から 10 時 45 分まで	事務所周辺
	年 月 日 時 分から 時 分まで	
	年 月 日 時 分から 時 分まで	

地域貢献・エコアクション21推進活動記録

子供を守る家



緑 化 等



環境安全教育と環境活動検討会議

実施年月日	実施場所
R3 年 8 月 25 日 17時30から	事務所
R3 年 11 月 25 日 17時30から	事務所
R4 年 2 月 25 日 17時30から	事務所
R4 年 5 月 26 日 17時30から	事務所

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の企業活動に伴い適用される関連法規は、次表のとおりです。
環境管理責任者が法規の遵守事項について確認をし、現在まで違反のないことを確認しました。
近隣住民からの工事についての問い合わせが数件あり対応いたしました。

環境関連法規リスト

法規制等の名称	該当する活動及び要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物 ① 分別・収集日	遵守確認
	産業廃棄物 ① 保管の基準(保管施設・囲い・掲示など) ② 委託先の許可確認(収集運搬・処分業者) ③ 委託契約の締結(契約書の5年間保存) ④ マニフェストの交付、回収、照合(5年間保存) ⑤ 委託者の適正処理を確認 ⑥ 「交付状況報告」書前年度実績を毎年6月30日までに提出	遵守確認
資源有効利用促進法	① 長野県の発注する工事では全工事対象 ② 再生資源利用計画・実施書の作成と1年間の保存 ③ 再生資源利用促進計画・実施書の作成と1年間の保存 ④ CREDAS入力システムにて入力しデータを提出	遵守確認
建設リサイクル法	① 事前説明、告知書、再資源化報告書の提出	遵守確認
産業廃棄物減量化・適正処理実践協定	① 産業廃棄物減量化・適正処理実践計画を ② 実践計画の実施 ③ 積極的な情報公開 ④ 実施結果の長野県知事への提出	遵守確認
水質汚濁防止法	① 事故により、公共用水域に油を含む水が排出された場合は 応急措置を講じ、県知事へ届出	該当なし
騒音規制法	① 特定建設作業を伴う工事の場合は市町村へ作業の7日前 までに届出をし、計測を行い規制値を遵守	該当なし
振動規制法	① 特定建設作業を伴う工事の場合は市町村へ作業の7日前 までに届出をし、計測を行い規制値を遵守	該当なし
排出ガス規制型建設機械指定要領	① 排出ガス規制型建設機械の使用義務	遵守確認



当社は長野県と「産業廃棄物3R実績協定」を締結しています。

7. 代表者による全体評価と見直し

(1) 環境経営方針

【コメント・指示事項】

昨年に引き続き、令和元年の台風19号による災害復旧工事が続き、さらには令和3年5月、8月の雨災害で川の現場が被災し令和3年災害復旧工事として来期まで続き、厳しい現場となったが安全に努め、無理無駄のない工事を心掛け従業員一丸となって復興に力を注ぐこととなった。

環境の保全に努め、地域の住民の皆様の安全を守ることがわたくしたちの使命と考える。

ICT化も進めており、今期はニコントリンプル製GNSS測量機、ニコントリンプル製レーザースキャナーX7、杭ナビシヨベル2台、CAT製0.25BH油圧シヨベル2台を導入することができた。

さらなる効率化をめざす。

(2) 活動組織

【コメント・指示事項】

新たな変革は特にありません。

(3-1) 環境経営目標と主な取組

【コメント・指示事項】

今期も規模の大きな工事のため、重機、機械に使用する軽油が昨年より2.8倍に増加しているが、致し方ないことであり、各々が無駄に作業しないことを心掛けているため良い。

昨年同様ゴミの削減、節電等の意識は徹底されており、現場でも2次製品の使用、廃棄物の分別等の意識も高い。

SDGsの取組として健康経営にも力を入れ従業員の健康意識を高めることにも力を入れている。

健康に働けることこそ生産性の向上につながると考えられる。

(3-2) 環境経営活動計画

【コメント・指示事項】

昨年同様、燃料の管理もよくできており、機械、車両を担当制にしたところ、各自責任をもって管理に努めていて良い。

水使用量、電気使用量もほぼ昨年通りであり、節水節電を心掛けている。

今期も健康優良法人の認定を受けることができ、さらに従業員の健康意識を高めることを目標に健康経営を進める。健康診断受診率100%、保健指導実施率100%、歯周病健診、70歳以上の従業員人間ドック実施などを行った。

逆手従業員の確保が以前から課題であったが、今期は4名の中途採用があった。社員の若返りとはいえないが、熟練の作業員の技術が受け継がれることを期待する。

(4) 総合評価

昨年に引き続き、令和元年台風19号の災害復旧工事が続いた。5月、8月には大雨により施工中の依田川の現場が再度被災した新たな復旧工事となった。出水期には作業員の安全体制を万全に整えることが重要であり、情報の収集共有、連絡等密にとり、事故もなく竣工を迎えることができた。

地域にお住まいの方の生活を元通りにすること、未来に環境を繋げるこそわたくしたちの使命と考えるが安全に施工してこそその竣工であり、焦り、無理は禁物である。環境保全のため、早期竣工を念頭に作業をしているが、安全な工事を目指し作業の効率化を推進している。人員不足も継続しており、技術者の現場の兼務や作業員の負担も大きいところが課題となっている。建設業では慢性的な人手不足が継続しており今後の課題である。

今期は4名の中途採用があった。大型ダンプ2台とICT機器の導入もありますます効率化、高速化を進める見通しとなっている。ICT機器を活用し魅力ある建設現場を目指し人員不足を補い若手の登用を期待している。

来期は歩道設置工事、公園整備、橋梁修繕工事が予定されている。どれも地域の方に密接する工事になるので、安全な工事はもとよりHPで現場情報を定期的に発信し開かれた現場を目指し進めていきたい。

3Kから新3Kへ。建設業の新しいイメージを作りたいと切に願う。

2022年6月1日

代表取締役社長

山岸 信幸

8.26期の取り組み内容

環境経営目標	環境経営目標項目	活動内容
CO2削減	ガソリン・軽油 (現状維持を目指す)	運転者は燃費を記録簿に記録し、把握する 同じ現場の場合は、乗り合いに努める 急発進・急加速をしない
ICT化の推進	生産性の向上	ICT機材をを導入し、人員の削減、 時間の短縮につなげる
	省人化、省力化施工技術 を目指す	ムリ、ムダのない早期竣工を目指す
廃棄物削減・省資源・現場全体の推進	産業廃棄物の減量化 (材料の有効活用)	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パトロール でチェックする
	現場ごとに環境への 取組を推進	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パトロール でチェックする
	機械、重機の維持管理	機械の仕分けを行い、番号ステッカーを貼る 点検記録用紙、点検の手順書を作成する 現場終了時に点検・整備を行い、責任者に提出する (年に1回は機械の点検を行う:5月以降)
化学物質適正管理	使用する化学物質の把握と適正管理	室内保管と使用料の把握 保管場所の徹底
グリーン購入	環境に配慮した原材料の使用	環境に配慮した原材料の使用に努める

環境経営目標	環境経営目標項目	活動内容
CO2削減	電気使用量の削減(現状維持に努める)	電気のスイッチをこまめに消す・明るい時は電気を消す
	使用量の把握(ソーラーパネル設置のため)	電球はLEDを使用する
廃棄物削減・省資源	一般廃棄物の計測と削減(現状維持を目指す)	事務所の資源ごみと可燃ごみの置場ラベルの表示 可燃ごみの計測 置場のダンボール置場、産業廃棄物一時保管場所の設置 コピー用紙の裏紙の使用
	水使用量の削減(現状維持を目指す)	節水ラベルを表示して各自節水に努める
健康経営の推進	従業員の健康管理を行い生産性の向上を目指す	健康診断の受診 健康に関する情報の収集、周知。 健康経営優良法人の認定

環境経営目標	環境経営目標項目	活動内容
SDGsの取組	ICT化の導入・推進	軽油の使用量削減
	高齢者・女性従業員の雇用促進	女性の従業員率アップ
		高齢者の効用促進、定年後の雇用
健康経営の推進	健康優良法人認定の継続 生活習慣意識の向上を目指す	
その他	エコアクション21推進	環境安全教育会議の実施(3ヶ月に1回) 最新法令の確認と法令順守チェック 環境上の緊急事態の訓練
	地域貢献	事務所周辺のごみ拾い HPで定期的な工事現場の進捗情報を更新する